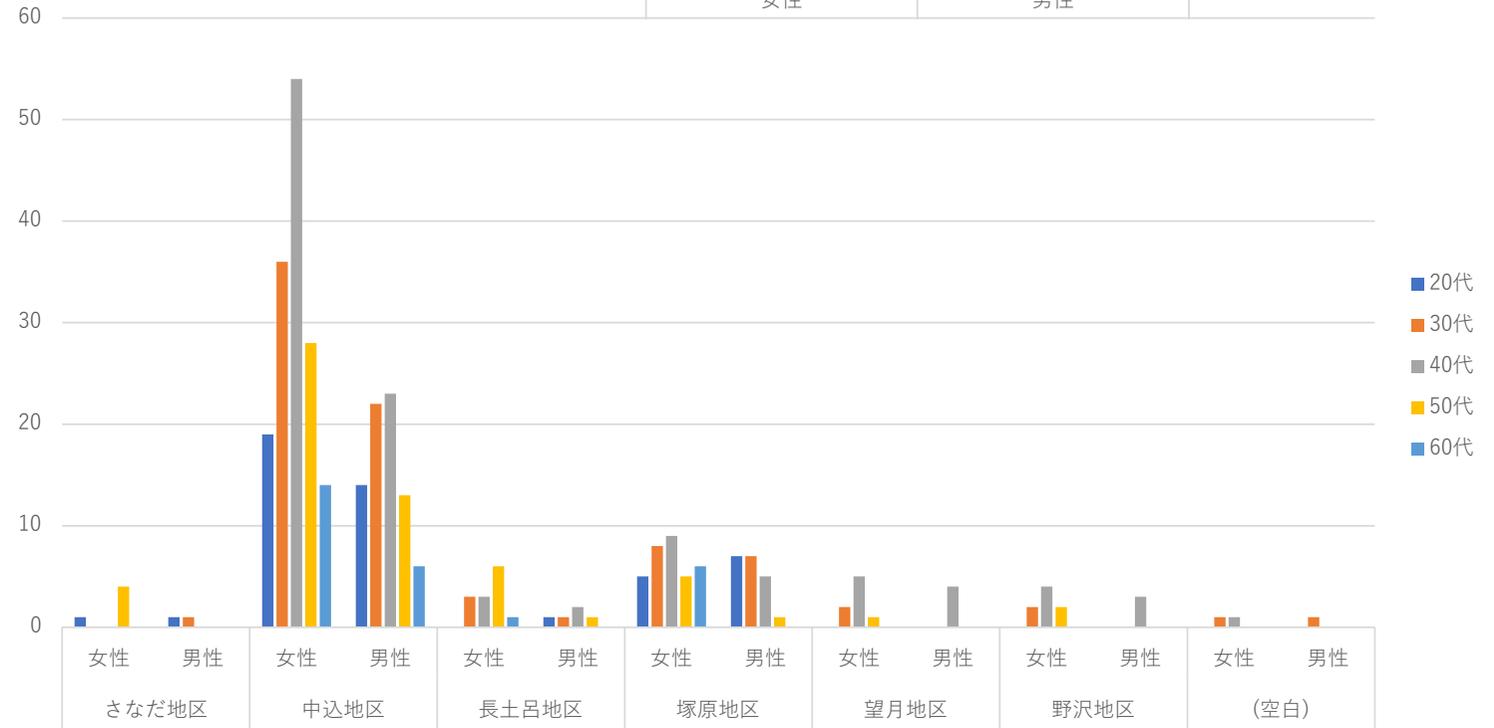
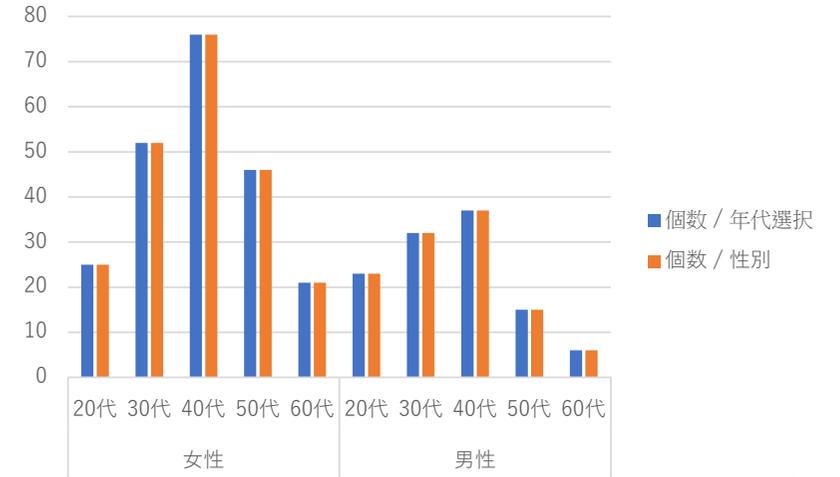


恵仁会職員
アンケート

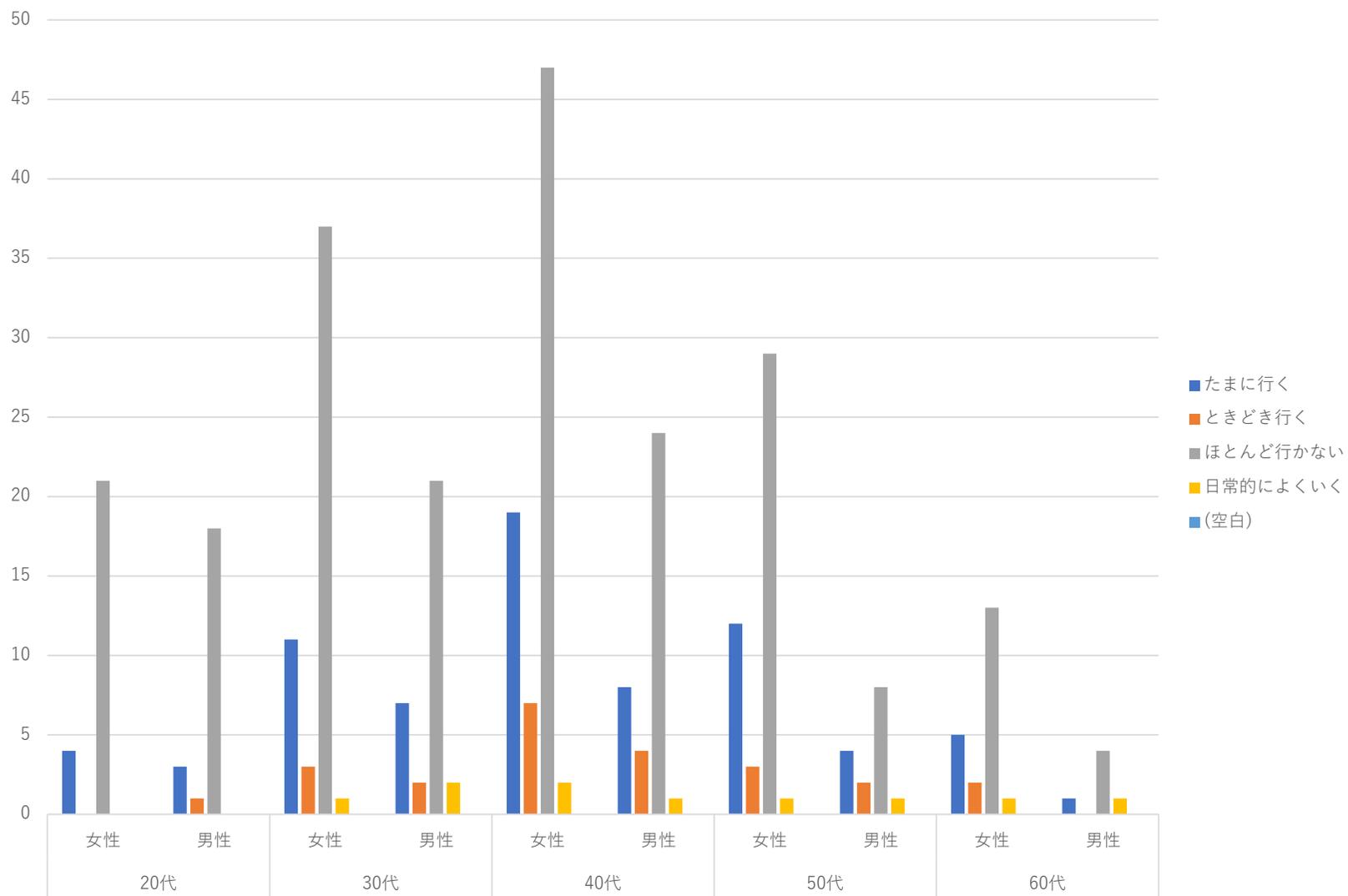
回答総数：333名

中込地区で勤務する恵仁会の現役世代が中心

行ラベル	個数 / 年代選択	個数 / 性別
女性	220	220
20代	25	25
30代	52	52
40代	76	76
50代	46	46
60代	21	21
男性	113	113
20代	23	23
30代	32	32
40代	37	37
50代	15	15
60代	6	6
総計	333	333



中込商店街や中込駅前はよく行きますか？



ほとんど行かないが
過半数以上

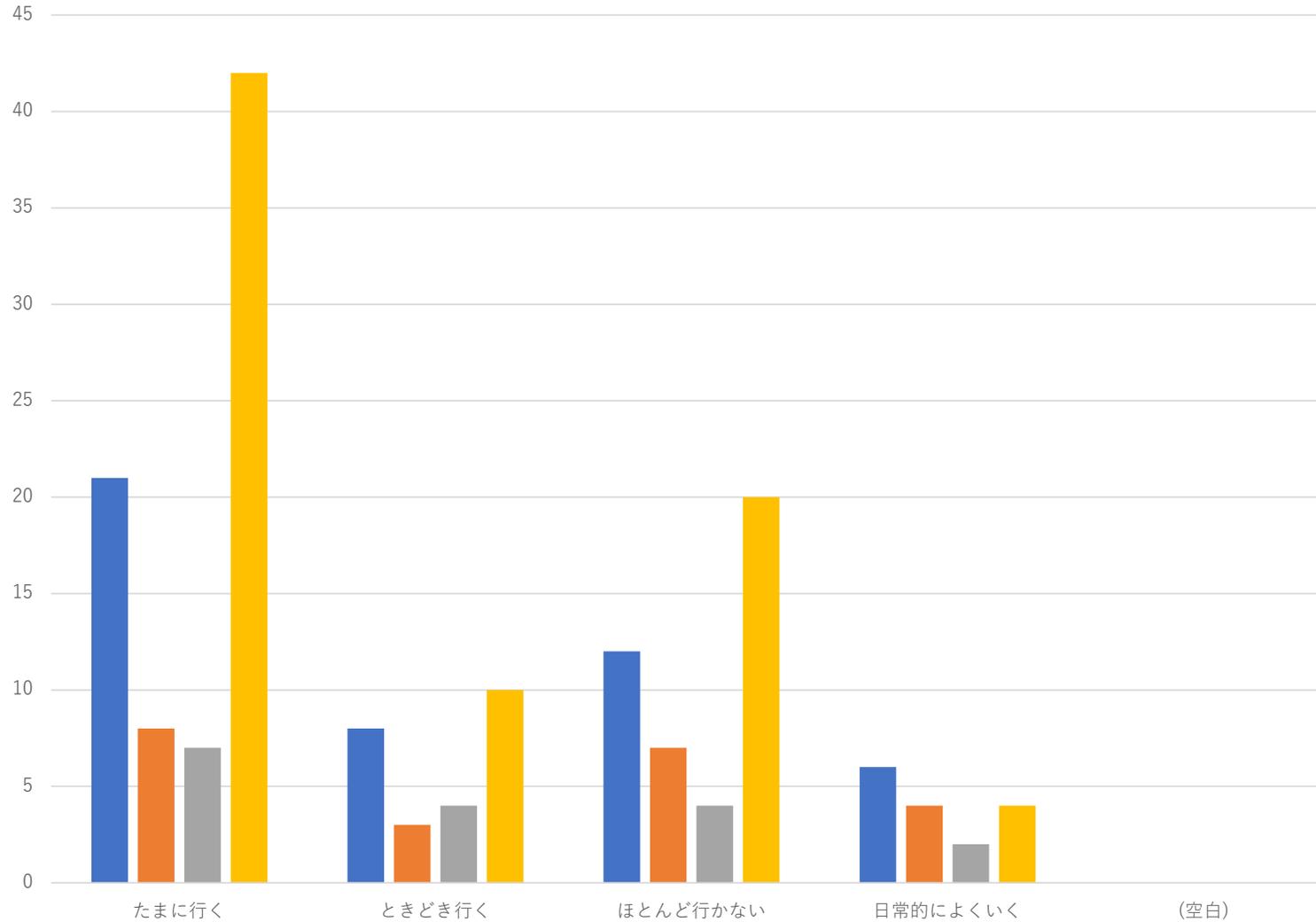
この「ほとんど行かない」層へいかにして情報を届け、興味を持ってもらうかで人入りは倍以上変動する。
くろさわ病院はじめ、近隣企業で働く人達の興味関心は日中の人出に大きな影響力があるとと言える。

頻度と目的

飲食、買い物目的で
行く人が多い

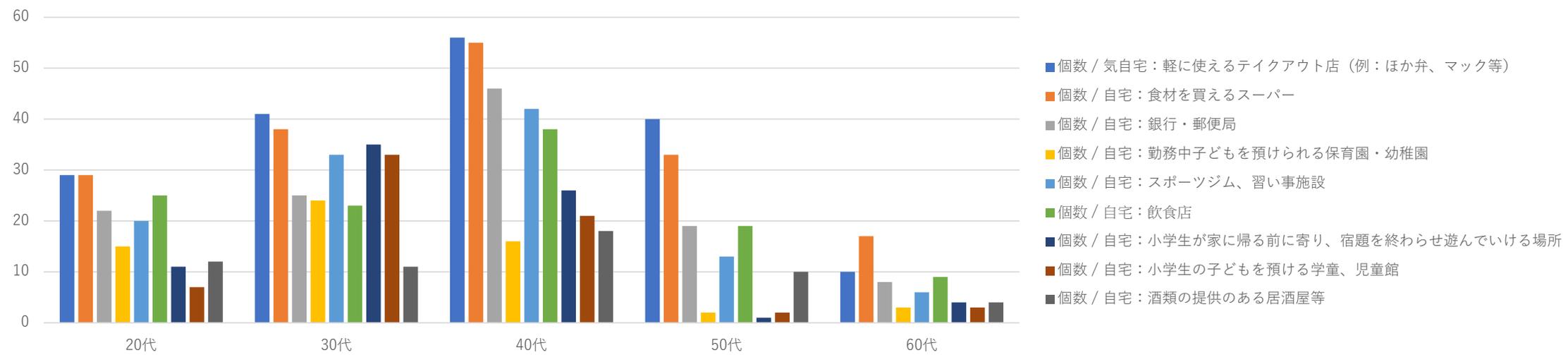
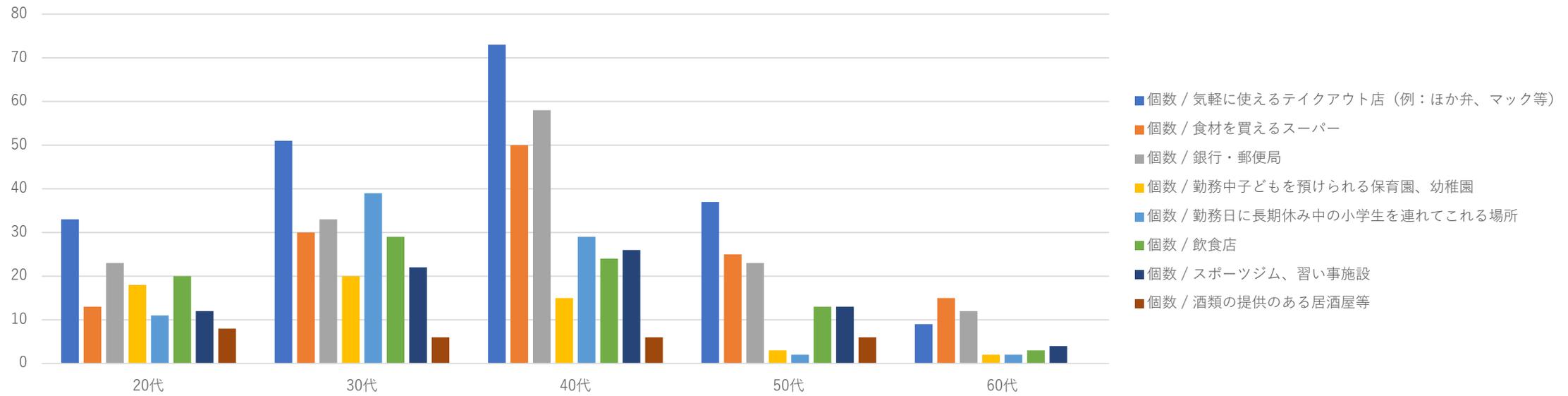
飲食目的で動く人が大多数。
時間帯から考えて昼食を食べ
る場所及びテイクアウト。
それから帰宅時に自宅へ持つ
て帰れるテイクアウト品など
はこれらのニーズにマッチし
ている。

- 個数 / 目的：買い物・習い事
- 個数 / 目的：諸活動のため
- 個数 / 目的：散策
- 個数 / 目的：飲食



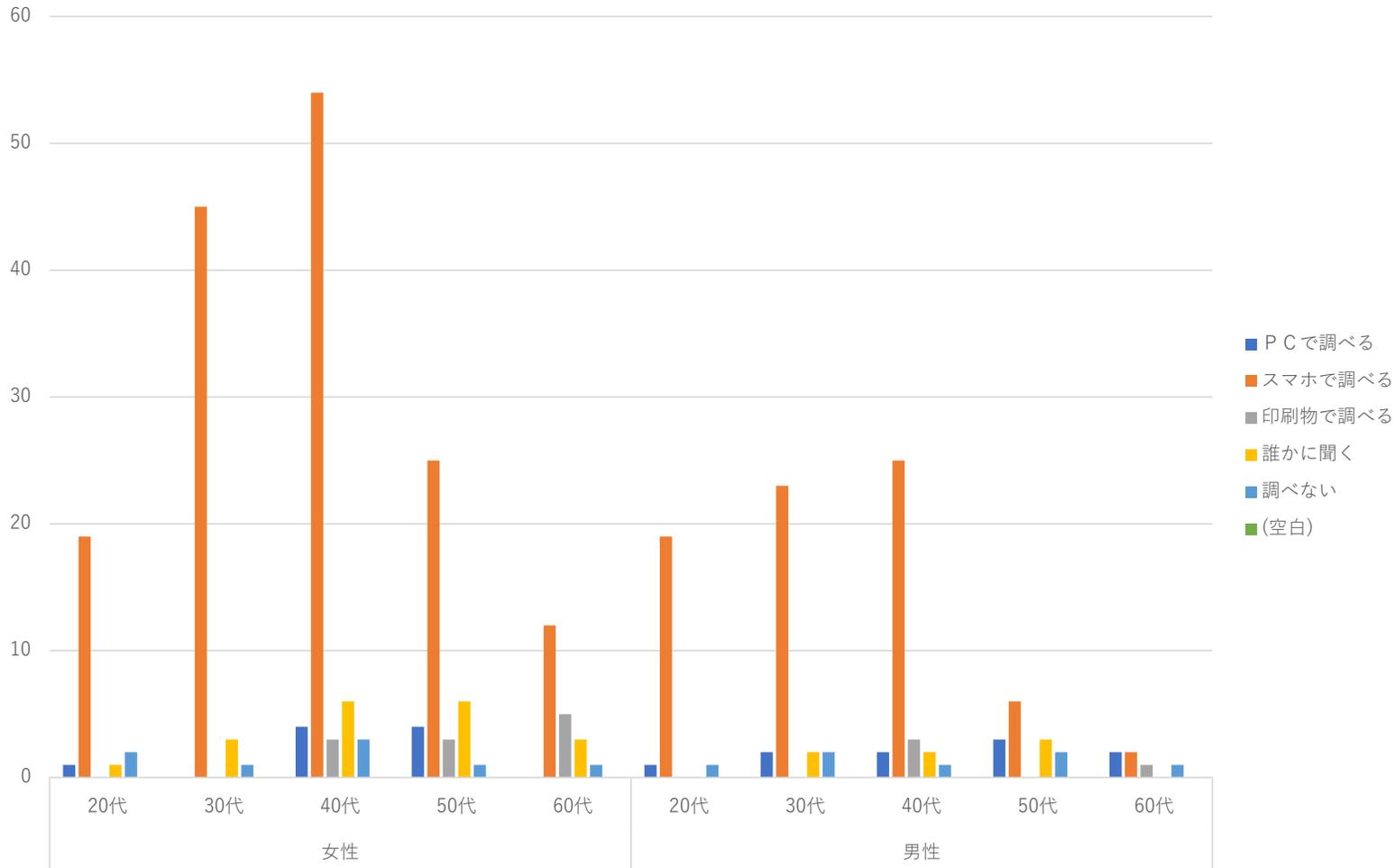
勤務地や自宅周辺に欲しい施設

テイクアウト店やスーパー
銀行が求められている



調べものをするツール

ほとんどスマホ
印刷物はわずか

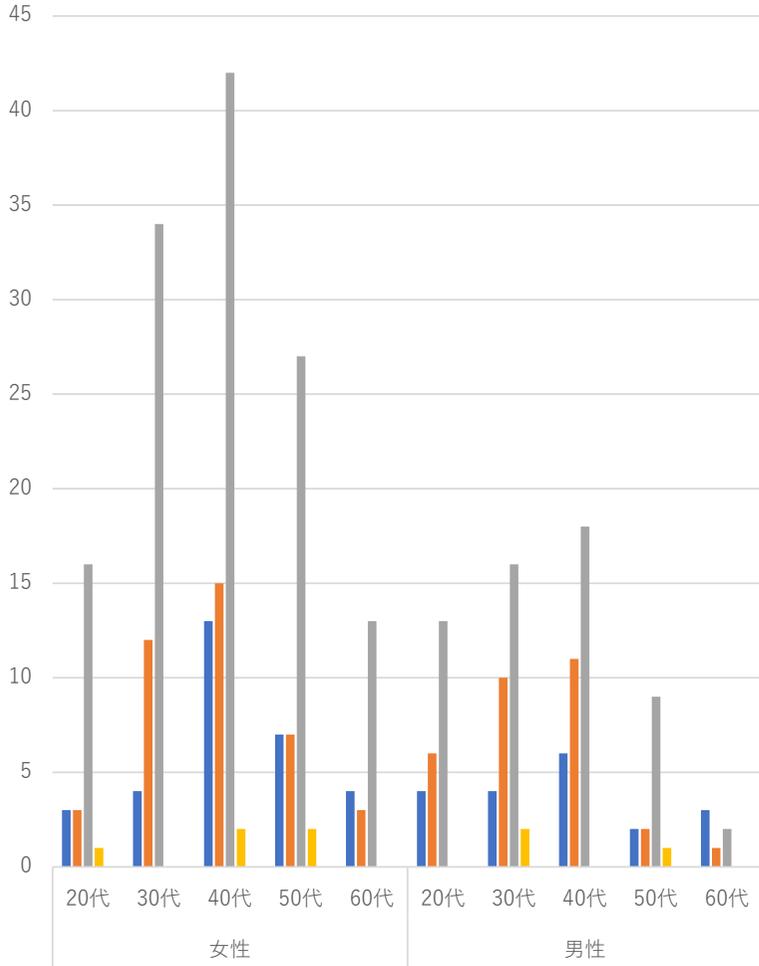


60代以降への情報ツールとして印刷物やテレビ・ラジオは今だ有効性が認められるが、現役世代へ情報を届けるのにWEBやSNSは必須であるとも言える。「情報拡散の起点」として現役世代のこの特徴を活かすべきではないだろうか。

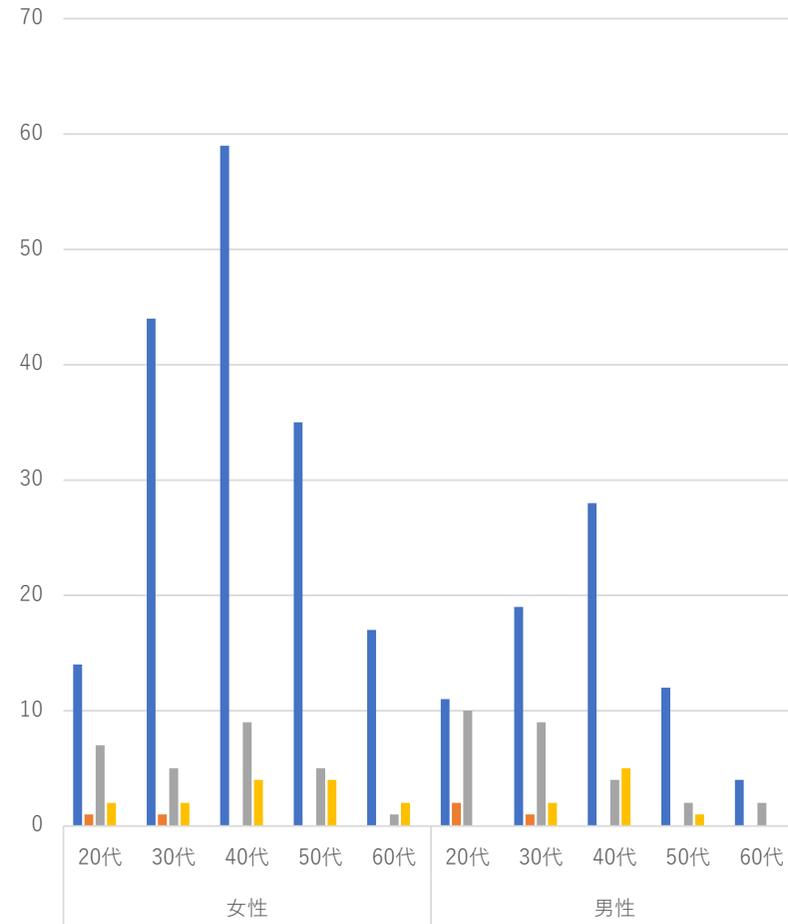
地域情報の重要度

まあまあ大事で、
あるなら欲しい程度

自ら積極的に探しているわけではない、シェアしたり登録しておくことで情報の届くWEBやSNSはやはりこうした特徴から見ても相性が良い。



- あんまり重要ではない
- すごく重要
- まあまあ大事
- 重要ではない
- (空白)

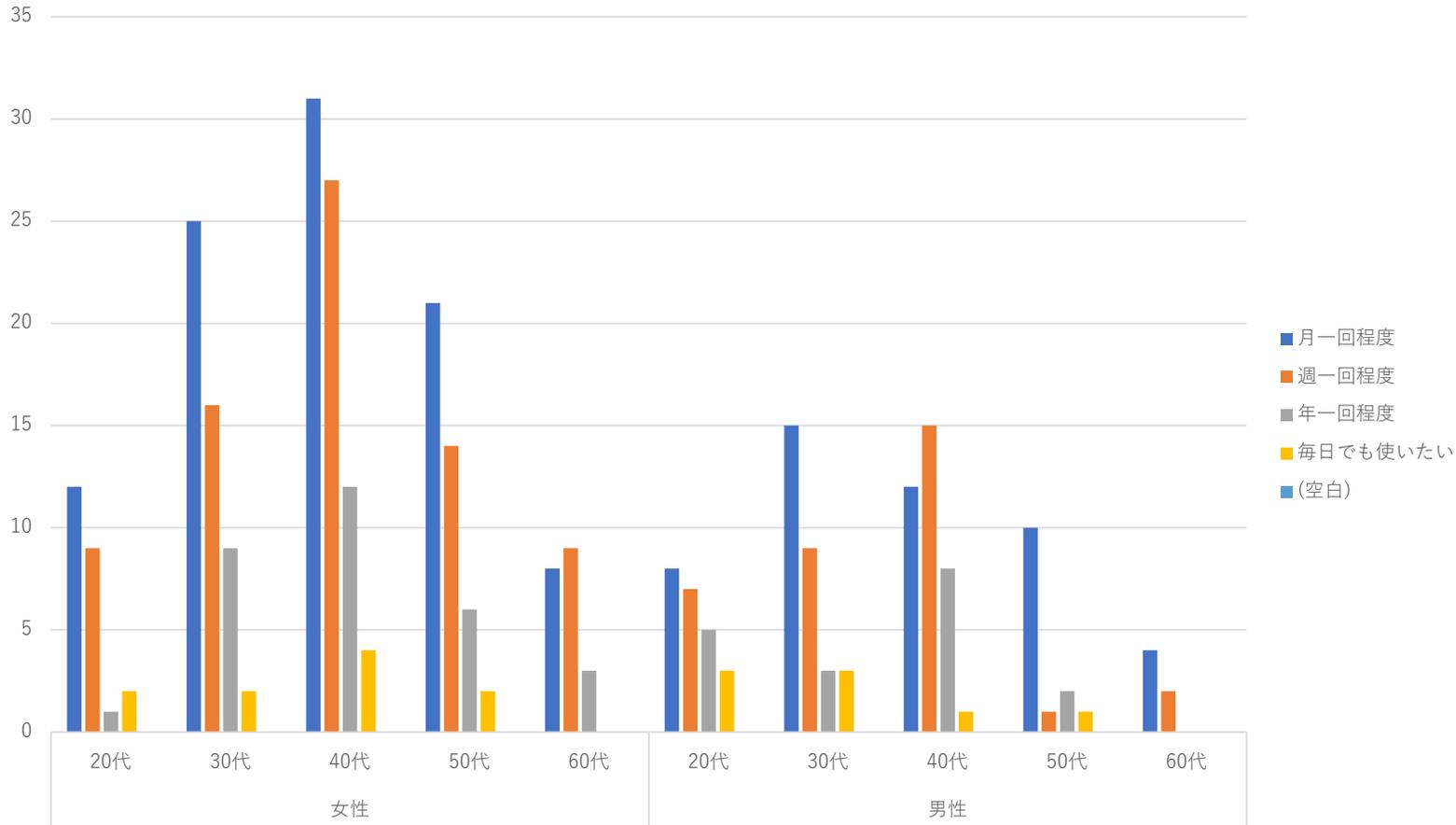


- あるなら欲しい程度
- そんな情報はいらない
- 自分からは求めない
- 探しても欲しい
- (空白)

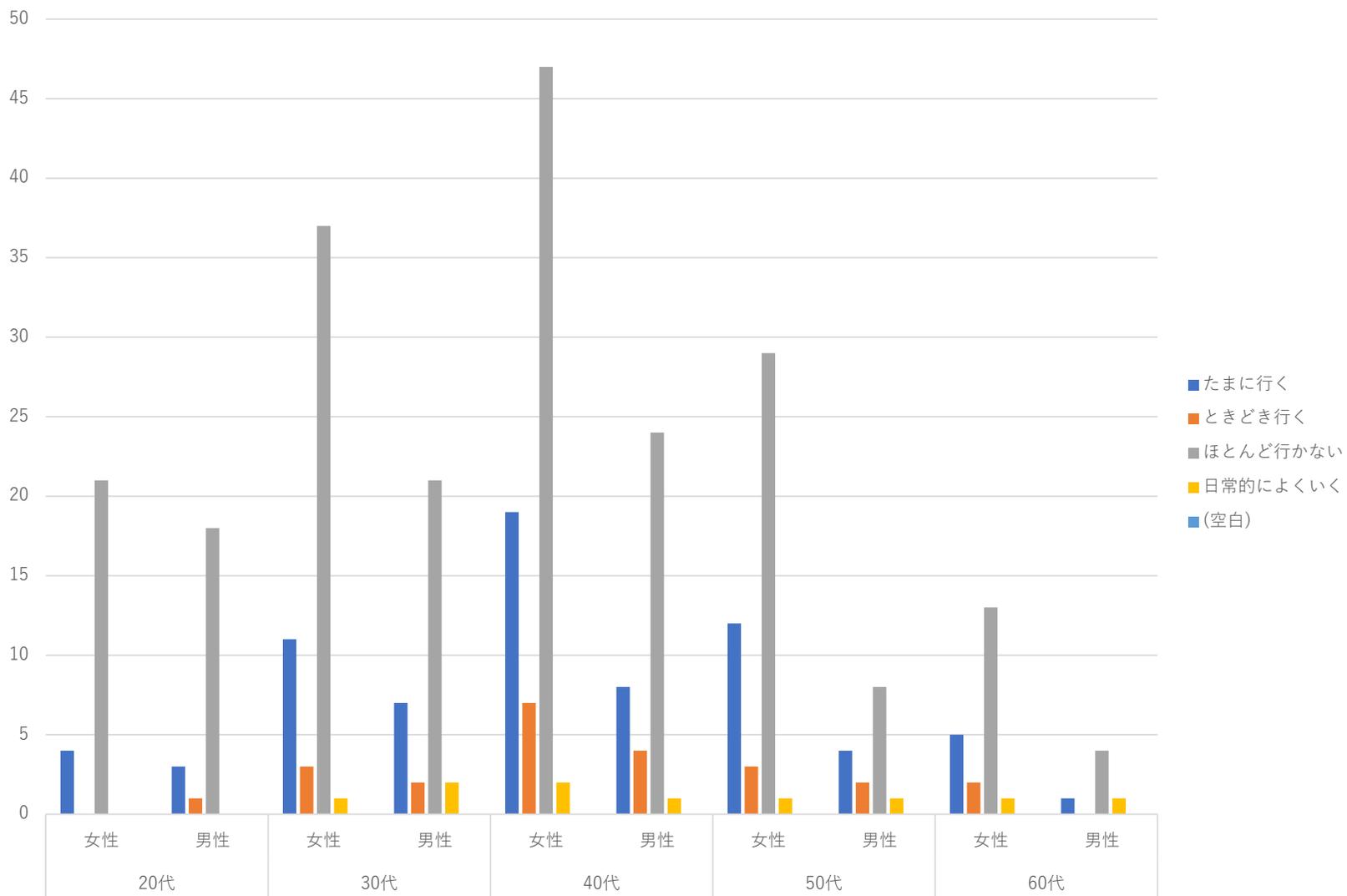
勤務地での徒歩圏内の飲食店の利用頻度

月一回か週一回

月に何回もイベントをしても総動員数は限られている。お客さんにも来訪頻度があり、分散してしまう。月一回か二回程度がイベントの開催頻度としてはベストだと言える。



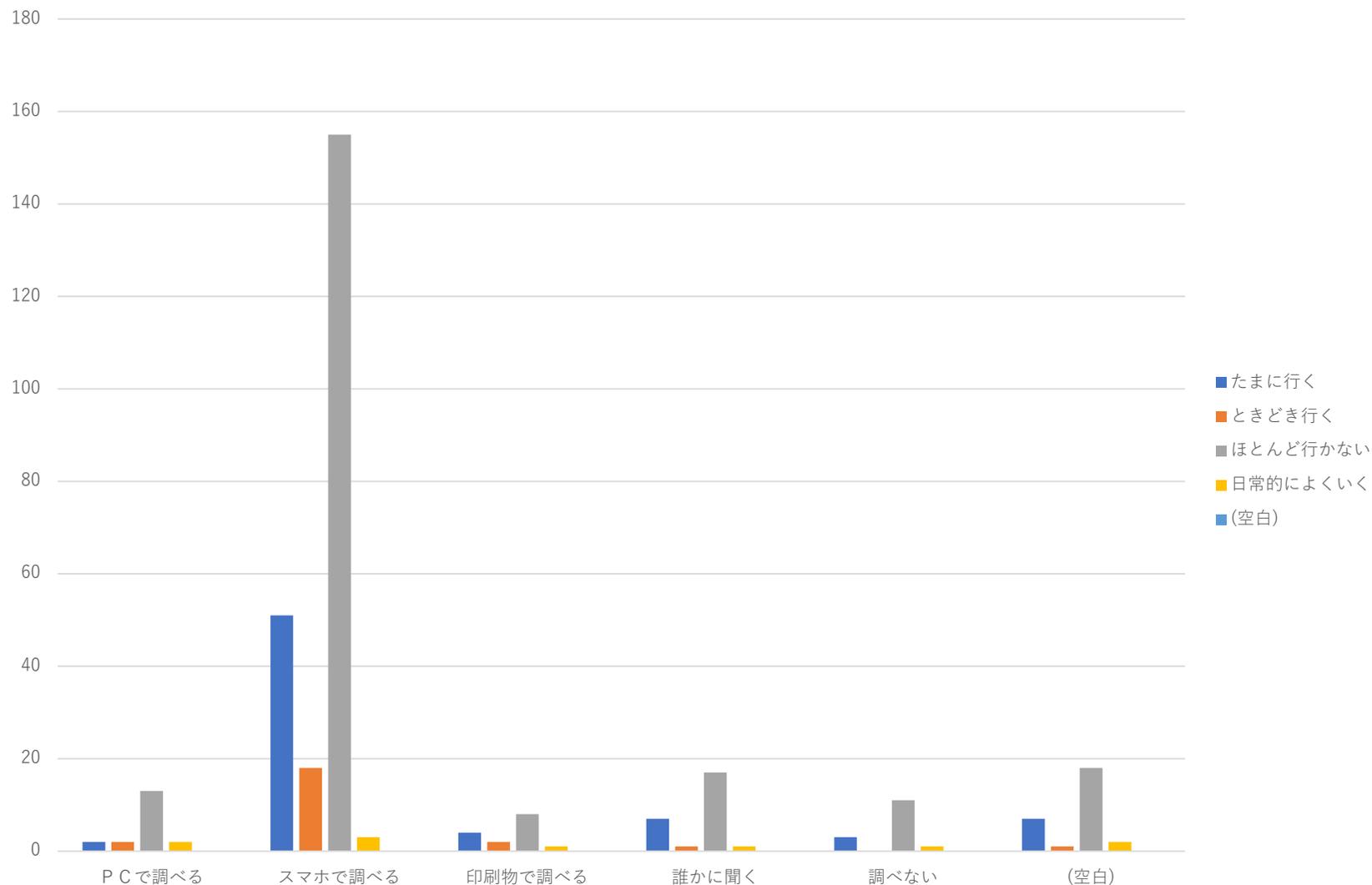
再度見てください。
中込商店街や中込駅前をよく行きますか？



ほとんど行かないが
過半数以上

総動員数を伸ばすにはこの
「ほとんど行かない」層が興
味関心を持って動き始める事
が重要。

どうやって情報を届ける？



スマホ一択

60代以降へ情報を届けられないということではない。宣伝PRにおいて、「どこを起点にして情報拡散するか」を考えた時に、毎回毎回相当数の「紙」をばら撒き、CMを流し続ける大企業規模の宣伝はまちづくりには向かない。ハッシュタグの工夫や関係者のシェアなどで低コスト効率的な拡散の狙える層を起点に情報を広めようというのは、中小規模組織や団体に合っている方法だと思います。

その他コメント

- お店を作るなら、駐車場が必要です。駐車場がないと行きません。古くて、誰も入っていないような商店街(岩村田・野沢・中込)の建物は何とかならないものでしょうか？
- 中込マルシェが開催されていた時にはよく中込商店街に行ったが、最近は中込商店街に行く機会がなくなりました。
- コロナを考えないとして、高校生(南高、北高)が立ち寄れる店(テイクアウト等)があるとよいと思う。青春時代の思い出となる店が少ないように思う。
- 中込駅周辺は、登下校で高校生の利用が多いように見受けられます。朝や夕方に食事が買えるマクドナルドの様なものがあると助かると思います。また、そのマクドナルド周辺に中高生が利用できるテニスコートやフットサル場などの集まれる場所を作ってあげることが街作りにつながらないでしょうか。若い人たちが集まれる場所を作ってほしいです。
- 子育てをしながら働くお母さんには、やはり長期休みや臨時の休校などの時に、子供を預けられる場所があると嬉しいと思います。中込の町の中に、スーパーとドラッグストアがあり、駐車場があれば毎日買い物をしたいと思います。今の中込の駅周辺は、買い物をしたいと思う店が無いです。
- 私の子供はもう少しで二十歳になるので、現状あまり子育て支援に関しては必要としていませんが、子育て中に感じたことは、子供が帰宅後、何か困ったことがあったときに駆け込める大人がいる場所があるといいなあと思いました。ちょっとした困りごとでも、子供では判断できないことを大人に相談できる場所。そんな立ち寄れる場所があれば、親としては安心です。職場に電話をかけてきても、親に電話かけてきてもすぐに駆け付けられないとき。私は転勤族で子育てをしたので、そんな気軽な場所があればいいと思いました。また、子供が過ごせる場所(料金が発生してでもいいので)が社内にあったらいいなあとも思いました。
- 無料で利用できるバスケットコート(3ON3程度)やスケボー広場、ストラックアウトのようなピッチングのまとなど整備された公園や広場があって、ベンチとまでいなくても腰を下ろせるような場所があれば、昼休みや休み中でも利用するかも・・・ストリートミュージシャンやダンサー、大道芸人も利用できるスペースがあれば活気が出そう。(近所迷惑にならなければ・・・)自販機コーナーもあれば最高!
- 障がい者支援の時に安全に散策できる場所があれば利用したいと思います。
- オープンキッチンは人の流れを止め、中込商店街活性化のきっかけになっていると思う。また、空き店舗の活用も大事になってくると思うが、見方を変えてグリーンモールの川周辺の整備を行い、きれいで魚などが泳ぐ小川ストリートにして、まずは散歩コースやジョギングに来てもらえるような空間を作ってみるのもいいかと思います。まずはきれいな小川のほとりを歩いたり、自然とふれあえる商店街を目指し、そこから商店に寄ってもらう方向にする。費用はかさむとは思いますが、子供連れや高齢者や高校生もそこを歩いて憩いの場になれば何かが変わるかもしれません。
- 商店街に来てもらいたいターゲットが不明であるため中途半端になっている。空き店舗だらけで、後利用に困っていて負の遺産みたいになっているのなら、一旦整理してゼロベースからどのような「まち」にしたいのか、検討する必要があるのではないのでしょうか。

その他コメント

- 子供を安心して大人に預けられるコミュニティがあればいいと思う。囲碁将棋・缶蹴りやかくれんぼの遊びが老若男女で関われる：バランス訓練／転倒予防になる中学生や高校生が大人と意見交換できる場所があればいい。
- ゲームを通じてeゲームも含めて、大人や年寄りも若者に教わって遊べるといい。
- これから子育て世代になるので、将来子供ができたときに仕事と育児の両立できるようなサポートを受けられる環境があるとありがたいと思います。
- 子育ては終了しているが、子育て中は子供の送迎時お互いの待ち時間は、イオンで時間をつぶしていた。独りでも気軽に時間をつぶすことができ便利だった。中込周辺には時間をつぶすような場所がないと感じる。時間をつぶすために中込商店街のベンチに独りで座っていたら「何だろうこの人」みたいな目で見られそうな気がする。
- 中込駅は高校生の使用頻度が高いため、高校生が頻繁に利用できる施設、店舗等があればもう少し活性化できるのではないかと。また、中込駅の駐輪場が小さい気がします。
- 部活を終えて、中学から塾へそのまま行くこともあり、学校は食べ物を持ち込み禁止になっているし、子供だけのコンビニや飲食店の入店もNGになっていて、昼から21時まで飲まず食わずになってしまうことがあります。こっそりと、カロリーメイトなど持たせているけれど、基本歩きながら食べて行く現状です。なんとか、中学生一人でも入店しておむすび一個でも衛生的に食べてよい場所とか、雨風しのげるベンチとか作ってくれたら、ありがたいと思います。塩川ベーカリーさんは、もうパンが売り切れている事が多いらしくあてには出来ないようです。部活の関係で早めに塾につき、駅で休んでいたら大人の方に声をかけられてしまったらしく、本人が気にしてしまい駅も行けなくなってしまいました。着替えて行くことも出来ないの、ひとめで中学生とわかるし、心配して声を掛けてくださるのもありがたいし、仕方ないとは理解していますが、なんとも後ろめたいらしく、結局立ち食いして道路に座っている現状です。なんとか、そういう頑張る中込塾生に安心して居てよい場所を設けてもらえないだろうか？と、思います。本人は気にしてはいないので、長くなりましたがあくまで母親としての意見です。
- コロナ禍でみんな息が詰まりそうになると思うので、おいしいお弁当、パン屋、コーヒー、雑貨などのマルシェを感染に気を付けながら実施してほしい。地元でとれた野菜など販売してくれたらうれしいです。
- 小学生2人と保育園の子供を持つ親です。保育園は延長保育で仕事後迎えに行ける環境なので特に心配はしていませんが、小学生2人が最近児童館（城山小学校）が嫌だと言い始め、歩いて家まで帰ってきたいと訴えています。ただ、家まで距離もありますし不審者も多かったり、だからと言ってスマホを学校に持っていくわけにはいかない私の勤務地の方まで歩いてくるように思いましたが城山小から中込までのルートは車通も多く車道と歩道が分かれていないので危ない気がして得策ではないのかなと思っています。中込近辺になにか学童や習い事ができる場所があれば子供たちの逃げ場が出来て（城山児童館は大人数すぎる環境です）毎日でなくても週に何回かでもそこに通うことができれば安心だなと思います。子供言われました「学校自体がストレスなのに放課後までなんで同じ小学校の人と過ごさなきゃいけないの。先生だっているけど見ていないから上級生は低学年を言葉の暴力でいじめている。ほんと嫌だ」と。それは児童館の体制に問題もあると思いますが城山小学校の児童館はほんとと人数が多すぎて問題なくらいな状況なので今更どうこうできないと思うのでせめて子供たちを違う環境に行かせたいと思いました。

その他コメント

- 中込の街に活気がなく、魅力的なお店もなく不便です。公園はあるが、近くにお店やせめて自販機などがあればいいなと思います。
- 公園にトイレはあるが、薄暗く怖い印象で使いたいときに使えない状況で困る。明るい気持ちよく使えるトイレが欲しい。 公園に駐車場がないが路駐でいいのか迷う。ないので路駐しているが使用しにくい。
- 中込駅前の活用方法がもったいない。毎日高校生が多数利用しているのに駅前に高校生をターゲットにした店舗が皆無である。例えばマクドナルドのような店舗があれば駅前は夜も明るくなり人が集まりだす。高校生だけではなく、その親も使用するはず。小海線を利用する社会人は少数であるので中込駅前に居酒屋は必要ない。商店街の住民も大切だがまず、人が集まる要素（大手チェーン店）を呼びこむのが最善手ではなかろうか。
- 中込地域は空き店舗がぼろぼろのまま放置されていたり、夜間営業の飲食店が連なっていたたりと、経観面で散策しづらい印象がある。ショーウィンドウにゴミ袋が積んである空き店舗はどうにかするべきだと思う。アクセス面では公共交通手段の利用にしても有料駐車場利用にしても実費がかさむため、少し離れた地域から飲食目的で訪れるのにはやや不便。
- 子供の長期休みや放課後にちょっとしたスポーツや絵描き教室など習い事施設みたいなものがあれ子供も退屈せずさらに仕事終わるのを待つことができるかなあと思います。（この近くの小学校児童館などに送迎付きであると尚利用者増えると思います。）
- まちづくりは、新しい物・変化を受け入れることに二の足を踏む。また、受け入れられないが故に結果として中途半端なものにしかならない。
- 子供たちが自然とまちづくりに参加できる仕組み、高校生主体で進められる企画や起業、これからの未来を担う子供たちが主体となれる社会になって欲しい。貧困率が上がり、子供たちの権利が奪われることがない社会であって欲しい。子供たちの駆け込み寺的な居場所が（子ども食堂など）、各地にあるといい。

アンケートの結果より

- ・気軽にテイクアウトできるお店や学生でも入りやすい店の雰囲気作り。
- ・学生が「寄っていく気になる」駅前環境づくり
- ・小学生からの子どもの居場所づくり（子どもは居場所ができて、大人は時間ができる）
- ・宣伝PRの主力をSNSに変更。チラシをばら撒くより安価で効果的。まちづくりメンバーが全員でシェアするだけでもかなりの宣伝効率となり、「ほとんど興味のない」層への積極的なアピールへ繋がる可能性が高い。
- ・イベントの頻度は地区全体で月1～2回が最も高効率な稼働。
- ・駐車場は「ない」のではなく「知らない」人が多い。SNS連動型の地域WEBサイト等の検討。
- ・企画も「知ったが来ない人」は仕方ないが「知れば来てくれる人」に伝えれてないのがもったいない。良い物は気軽に発信してくれる若者の力と是非とも連携していくべき

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

進行例)

「飲食」、「子ども支援」となる企画に対し、「駐車場」を確保し、それを上手に「宣伝」するまちづくり
コンセプト例)

「食と安心のまち：なかごみ」など

(方向性を統一するコンセプト立てはとても重要)